

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月31日(木) 三回戦

Gコート 第3試合 本庄総合公園体育館(シルクドーム)

チームA		20 - 12 16 - 15 16 - 20 19 - 19		チームB
常葉学園	71		66	県立小林
静岡				宮崎

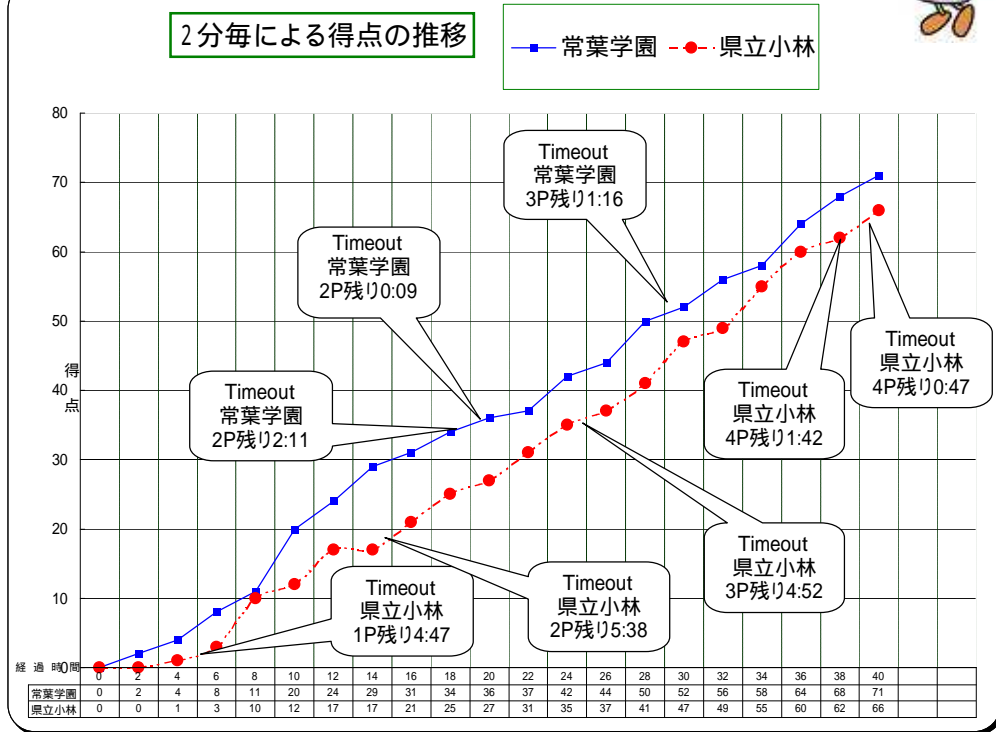
常葉学園

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	風間 緑	X	18	1	2	7	11	1	2	0	3	7	3	2	0	2	40
5	西野 いずみ	X	18	1	6	5	14	5	6	2	6	5	4	1	4	2	40
6	松村 圭織	/	9	0	0	4	9	1	4	4	3	3	1	1	2	1	24
7	りゅう 虹	X	17	1	5	7	13	0	0	0	5	6	4	2	0	3	39
8	小杉 あずさ	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
9	小林 理央	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	本目 紗和子	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	坂元 美沙季	X	5	1	7	1	7	0	0	2	2	0	1	0	2	0	20
12	入澤 唯加	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	佐野 あずか	X	4	0	1	2	6	0	0	5	4	8	3	2	1	0	36
14	錦織 静花	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15	原 佑理子	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	小前 宏史	/	/	/	/	/	/	/	/	0	2	4	0	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場			71	4	21	26	60	7	12	13	25	33	16	8	9		200
確率			19.0%		43.3%		58.3%				計	58					

県立小林

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	池上 瑠理	X	6	0	2	3	12	0	0	2	3	5	4	1	2	1	38
5	廣瀬 今日子	X	20	2	7	6	20	2	4	3	6	8	2	3	2	0	39
6	岩満 沙織	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7	松田 友里香	X	21	1	5	5	11	8	8	3	2	5	5	1	0	2	40
8	白谷 優香	/	2	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	12
9	今別府 愛璃	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	藤井 優季	X	7	2	5	0	3	1	2	1	0	3	1	1	3	0	39
11	江藤 綾子	X	10	0	1	5	11	0	0	5	5	2	0	1	0	0	28
12	上妻 朱奈	/	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
13	岡田 麻里	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	永家 沙紀	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	住吉 南	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	西田 次良	/	/	/	/	/	/	/	/	0	5	6	0	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場			66	5	20	20	58	11	14	15	22	29	13	7	8	3	200
確率			25.0%		34.5%		78.6%				計	51					

2分毎による得点の推移



戦評

今大会接戦を勝ち抜いてきた両チーム。トランジションの速さが定評の両チーム、長身センターを擁する常葉学園をアグレッシブなオフェンスが持ち味の小林、ベスト8を懸けた戦いの火蓋が切られる。

第1P、両者ともハーフコートマンツーマンでスタート。立ち上がり、常葉学園は持ち前の速さで相手を攪乱させる。小林は、ペースを崩すもディフェンスの集中を切らすことなく応戦。20対12の常葉学園のリードで終了。

第2P、追い上げを図りたい小林、#5廣瀬の1対1等を中心に果敢に攻撃するも、常葉学園、長身センター#7りゅうのヘルプディフェンスが効き、小林シュートのリズムを崩される。小林#7松田のゴール下で加点していくが、常葉学園#4風間を基点とする速攻やオフェンスリバウンドシュートが成功し点差は縮まらず36対27常葉学園リードで前半終了。

第3P、立ち上がり小林#4池上のスピードを生かしたドライブインからのシュート、外角からの2Pで、息を吹き返す。小林は、セットプレイを用いる事によって落ちつきを取り戻し加点していくも、常葉学園#4風間のアウトサイドからの飛び込みオフェンスリバウンド等に応援。終盤にさしかかり、ディフェンスの粘りを見せた小林が、流れを作り#10藤井、#5廣瀬の連続3Pで、5点差まで詰め最終Pへ。

第4P、両者とも白熱した戦いが繰り広げられる。小林#5廣瀬、#7松田のアグレッシブな1対1によって残り5分、1点差となる。さらに、常葉学園は#13佐野のファウルアウト等、ファウルに苦しむ展開となる。小林は、フリースロー等で2点差まで詰め寄るが、#6松村の巧みなボールコントロール、#7りゅうのオフェンスリバウンドが功を奏し71対66常葉学園の勝利で試合終了。両者ともに、最後までスピードの衰えることのない好ゲームであった。

主審	山田 巧	副審	柳屋 伸明	戦評	高瀬 千鶴子 (埼玉県高体連)
----	------	----	-------	----	-----------------

3P: スリーポイントシュート, 2P: 2ポイントシュート, FT: フリースロー, OF: オフェンス, DF: ディフェンス, TO: ターンオーバー, ST: スティール, AS: アシスト, BS: ブロックショット